

令和7年度 市民参画手続 実施状況詳細

番号	所管課	施策の名称	施策の概要 (策定の趣旨等)	手続区分	実施時期 (期間)	パブコメ						審議会・ワークショップ・意見交換会等													
						パブコメ周知・公表方法			参加状況			審議会・ワーク ショップ・意見交換 会等の名称	審議（協議）内容	委員構成等			公開状況			参加者の 要件 (参加対象)	参加者募集 の周知・ 広報方法				
						市民の ひろば	必須設置箇所 以外の供覧場所等	左記以外の 周知方法	意見 提出者数	提出方法	意見 件数			総委員 数	公募委 員数	女性 委員 数	会議	会議 録	公表方法						
01	政策企画 課	第六次鹿児島市 総合計画後期基 本計画	令和9年度からの後期基本計 画を策定するもの	その他（ア ンケート方 式）	令和7年5月19日～ 令和7年6月15日							その他の手法（アンケート等）													
												その他の手法 （アンケート等）の 名称	協議 （アンケート） 内容	構成・送付数等			公開状況			送付対象者	参加者募集 の周知・ 広報方法等				
														総送付 数	総回答 数	-	アン ケート 内容	集計 結果	公表方法						
					第六次鹿児島市総合 計画に係る市民意識 アンケート調査	市民意識・行動に 関する調査	5,000	2,147		○	○	市HP	鹿児島市在 住の16歳以 上の男女 5,000人（無 作為抽出）	市HP											
					アンケートの結果と主な自由意見																				
					●アンケート結果（割合が高かった3項目） ・「きれいで快適なまち」と感じる市民の割合 70.6% ・「緑や水辺などの自然とのふれあいの場や機会がたくさんある」と感じる市民の割合 67.6% ・「ICTの活用により、生活が便利になった」と感じる市民の割合 65.5% ■鹿児島市が人口減少時代を乗り越え、将来にわたって活力を維持していくために、今後力を入れてほしい取組（割 割合が高かった3項目） ・結婚・出産・子育てへの支援、仕事と子育ての両立 42.5% ・魅力的で安定した雇用の場の確保 38.1% ・買物・福祉・医療など生活関連サービスの維持向上 36.1%																				
令和7年7月28日～ 令和7年9月28日												その他の手法 （アンケート等）の 名称	協議 （アンケート） 内容	構成・送付数等	公開状況			送付対象者	参加者募集 の周知・ 広報方法等						
												総送付 数	総回答 数	-	アン ケート 内容	集計 結果	公表方法								
												①若者・女性アン ケート（兼生徒・学 生の進路希望調査） ②移住に関する意識 調査（兼若者・女性 アンケート）	本市が若者や女性をは じめ、すべての方々 が、“住みたい”“訪 れたい”と感じる「選 ばれるまち」となるた めに必要なニーズ等を 調査するもの	WEBア ンケー ト	① 851 ② 233		○	○	市HP	①本市在住の高 校生～40歳未 満の者 ②本市出身の市 外在住者、本市 への移住を検討 している者	市HP 市民のひろば 各種SNS 学校・大学等へ の周知依頼 関係機関・団体 への周知依頼等				
												アンケートの結果と主な自由意見													
鹿児島市に必要なことについて、各分野において割合が高かった項目（上位3つ） ■しごと・産業 給与アップ 29.0% 福利厚生 の充実 15.6% ワークライフバランス の充実 15.5% ■結婚・出産・子育て 妊娠・出産・子育てに関する経済的負担の軽減 29.3% ワークライフバランス の充実 16.4% 保育所や児童クラ ブなどの待機児童の解消 13.8% ■こども施策 質の高い教育環境等の整備 15.6% こども・若者の将来の基盤となる知識等を身に着ける教育の充実 13.1% こ ども・子育てにやさしい社会づくりのための意識改革や環境整備 13.1% ■まちの魅力創出 魅力的な商業施設やイベントなど、街なかのにぎわい 25.6% 魅力的なエンターテインメントを楽しめる施設や 機会 24.6% 中央駅、天文館など拠点間を歩いて楽しむことができる環境 15.6% ほか																									

令和7年度 市民参画手続 実施状況詳細

番号	所管課	施策の名称	施策の概要 (策定の趣旨等)	手続区分	実施時期 (期間)	パブコメ						審議会・ワークショップ・意見交換会等									
						パブコメ周知・公表方法			参加状況			審議会・ワーク ショップ・意見交換 会等の名称	審議（協議）内容	委員構成等			公開状況			参加者の 要件 (参加対象)	参加者募集 の周知・ 広報方法
						市民の ひろば	必須設置箇所 以外の供覧場所等	左記以外の 周知方法	意見 提出者数	提出方法	意見 件数			総委員 数	公募委 員数	女性 委員 数	会議	会議 録	公表方法		
02	交通政策課	第二次鹿児島市公共交通ビジョン	地域公共交通利便増進実施計画の策定及び公共交通不便地等における持続可能な公共交通手段見直し方針の策定に合わせて、公共交通ビジョンの改定を行う。	パブリックコメント	令和8年3月2日～令和8年4月10日	令和8年3月号	・福祉館 ・親子つどいの広場 ・中央駅総合観光案内所など60箇所	・市内を運行する路線バス車内でのポスターの掲示	13人	郵送(2) 電子(9) メール(2) FAX(0) 窓口等(0)	66件										
				(パブコメ) 検討結果及び反映した主な意見																	
				① 意見の趣旨等を反映し、制度案に盛り込むもの 1件 ② 意見の趣旨等は、制度素案に盛り込み済みのもの 13件 ③ 制度案に盛り込まないもの 8件 ④ 具体的な事業の実施にあたり参考とするもの 34件 ⑤ その他要望・意見等 10件 (反映した主な意見) ○バスが車線変更する場所に「停止禁止部分」を設けるなど、鹿児島市も他県のようにバスが他車よりも優先して進行できる仕組みを整備するべきだ。 ⇒公共交通ビジョンの推進施策「路線バスや乗合タクシー等の定時性・速達性の向上」の実施方針を、「鹿児島中央駅周辺における信号サイクルの見直しや、バスが優先して進行できる仕組みづくりなど、公共交通のスムーズな運行に向けた方策を検討する。」に変更。 ※04地域公共交通利便増進実施計画と合わせて実施。																	
				審議会等	令和7年6月6日 令和7年11月10日 令和7年6月6日 令和7年8月6日 令和7年10月27日							鹿児島市公共交通交通ビジョン協議会 (ビジョン策定部会)	公共交通ビジョン、利便増進実施計画の策定、変更、ビジョンの推進、評価に係る協議等	27	2	6	○	○	市HP	公共交通事業者、道路管理者、港湾管理者、公安委員会、学識経験者、公共交通利用者、関係行政機関	公募委員：市民のひろば、ホームページなど
(審議会) 主な意見と取扱い																					
(ビジョン協議会) ・不便地の交通手段の見直しにおいて。小中学生の利用は年度により異なってくるが、変化への対応方針は。 ➡これまでの調査で利用が確認された地域は見直し後も利用できるように対応している。 ・乗合タクシーはエリア内に居住する住民しか利用できないのか。 ➡現在は住民のみだが、今後は利用可能な区域と目的地の条件を満たしていれば、誰でも利用できるようにしたいと考えている。 ・不便地における交通手段の見直しについての広報はどのように行う予定か ➡地域での説明会を通して周知広報を行っていく。 (ビジョン策定部会) ・公共交通を維持するには、もっと公共交通に乗る必要があることを地域住民に認識してもらえることが大切である。ビジョン改定の際は、その視点を重視した位置づけを検討いただきたい。 ➡モビリティ・マネジメントを推進施策の1つに位置づける。 ・個別施策の効果が重点戦略や基本方針に単位で、どのように効果が出ているかを把握することが重要と考える。どのように評価できるか、ぜひ検討してほしい。 ➡ビジョン改定に伴い重点戦略単位で中間評価を実施。																					

令和7年度 市民参画手続 実施状況詳細

番号	所管課	施策の名称	施策の概要 (策定の趣旨等)	手続区分	実施時期 (期間)	パブコメ						審議会・ワークショップ・意見交換会等									
						パブコメ周知・公表方法			参加状況			審議会・ワーク ショップ・意見交換 会等の名称	審議（協議）内容	委員構成等			公開状況			参加者の 要件 (参加対象)	参加者募集 の周知・ 広報方法
						市民の ひろば	必須設置箇所 以外の供覧場所等	左記以外の 周知方法	意見 提出者数	提出方法	意見 件数			総委員 数	公募委 員数	女性 委員 数	会議	会議 録	公表方法		
03	交通政策課	鹿児島市地域公共交通利便増進実施計画	地域公共交通ネットワークの再構築を図るため、官民が連携して取り組む利便増進実施計画を策定する。	パブリックコメント	令和8年3月2日～ 令和8年4月10日	令和8年 3月号	・福祉館 ・親子つどいの広場 ・中央駅総合観光案内所など60箇所	・市内を運行する路線バス車内でのポスターの掲示	13人	郵送(2) 電子(9) メール(2) FAX(0) 窓口等(0)	66件										
				(パブコメ) 検討結果及び反映した主な意見																	
				① 意見の趣旨等を反映し、制度案に盛り込むもの 1件 ② 意見の趣旨等は、制度素案に盛り込み済みのもの 13件 ③ 制度案に盛り込まないもの 8件 ④ 具体的な事業の実施にあたり参考とするもの 34件 ⑤ その他要望・意見等 10件 〈反映した主な意見〉 なし ※03第二次鹿児島市公共交通ビジョンと合わせて実施																	
				審議会等	令和7年5月23日 令和7年6月6日 令和7年8月27日 令和7年10月23日 令和7年11月10日							・鹿児島市公共交通 交通ビジョン協議会 (交通ネットワーク 部会)	利便増進実施計画 の策定に係る協議 等	27	2	6	○	○	市HP	公共交通事業者、道路管理者、港湾管理者、公安委員会、学識経験者、公共交通利用者、関係行政機関	公募委員：市民のひろば、ホームページなど
				(審議会) 主な意見と取扱い								・乗合タクシーの利用方法についてなどの意見も出てくると思うが、乗合タクシーの周知や広報についても計画の中で取り組んでもよいのでは。 ⇒今後、公共交通の利用促進と合わせて検討する。 ・公共交通不便地域の見直しについて、バス路線の再編とあわせて実施されるのか。前後する場合もあるのか。 ⇒同時に実施したいと考えているが、運行する事業者の確保がスケジュール通りに進むかが課題。 ・結節点で施設整備を行った場合、設置した施設の維持管理についてはどのように考えているか。 ⇒今後検討予定。									

令和7年度 市民参画手続 実施状況詳細

番号	所管課	施策の名称	施策の概要 (策定の趣旨等)	手続区分	実施時期 (期間)	パブコメ						審議会・ワークショップ・意見交換会等												
						パブコメ周知・公表方法			参加状況			審議会・ワーク ショップ・意見交換 会等の名称	審議（協議）内容	委員構成等			公開状況			参加者の 要件 (参加対象)	参加者募集 の周知・ 広報方法			
						市民の ひろば	必須設置箇所 以外の供覧場所等	左記以外の 周知方法	意見 提出者数	提出方法	意見 件数			総委員 数	公募委 員数	女性 委員 数	会議	会議 録	公表方法					
04	交通政策課	公共交通不便地等における持続可能な公共交通手段見直し方針	公共交通不便地において日常生活の交通手段を確保するために運行しているあいばす等について、利用者数が少ないなどの課題があることから、地域の実情に応じた交通手段となるよう調査検討を行い、見直し方針を策定する。	審議会等	令和7年5月23日 令和7年6月6日 令和7年7月17日 令和7年10月10日 令和7年11月10日							・鹿児島市公共交通交通ビジョン協議会（コミュニティ交通部会）	公共交通不便地等における持続可能な公共交通手段見直し方針（案）等について	27	2	6	○	○	市HP	公共交通事業者、道路管理者、港湾管理者、公安委員会、学識経験者、公共交通利用者、関係行政機関	公募委員：市民のひろば、ホームページなど			
												（審議会）主な意見と取扱い												
				意見交換会	令和7年8月9日 令和7年8月23日 令和7年8月30日 令和7年9月6日										地域懇話会	あいばす等見直し案の説明・意見聴取	176人参加	－	－	○	○	市HP	地域公共交通会議地域部会委員、公共交通不便地に係るコミュニティ協議会・地域住民	回覧板、HP、あいばすの車内掲示
															（意見交換会）主な意見と取扱い									
												・区域運行は金融機関や病院等を目的地に追加してほしい。 ⇒最寄りの公共施設や商業施設等から離れたエリアなど、運行目的地を設定する際の基本的な考えに当てはまらない意見など反映できていないが、約３５０件の意見のうち、約８０件は反映した。												
05	デジタル戦略推進課	アナログ規制の見直しに伴う関係条例の整備素案	本市の条例・規則等におけるアナログ規制を見直し、関係条例の整備を行うもの	パブリックコメント	令和8年3月16日～令和8年4月24日	○	－	LINE、Facebook、X	16人	郵送(2) 電子(13) メール() FAX() 窓口等(1)	50件													
				（パブコメ）検討結果及び反映した主な意見																				
				① 意見の趣旨等を反映し、条例案に盛り込むもの 0件																				
				② 意見の趣旨等は、条例案に盛り込み済みのもの 12件																				
③ 条例案に盛り込まないもの 0件																								
④ 具体的な事業の実施にあたり参考とするもの 20件																								
⑤ その他要望・意見等 18件																								

令和7年度 市民参画手続 実施状況詳細

番号	所管課	施策の名称	施策の概要 (策定の趣旨等)	手続区分	実施時期 (期間)	パブコメ						審議会・ワークショップ・意見交換会等									
						パブコメ周知・公表方法			参加状況			審議会・ワーク ショップ・意見交換 会等の名称	審議（協議）内容	委員構成等			公開状況			参加者の 要件 (参加対象)	参加者募集 の周知・ 広報方法
						市民の ひろば	必須設置箇所 以外の供覧場所等	左記以外の 周知方法	意見 提出者数	提出方法	意見 件数			総委員 数	公募委 員数	女性 委員 数	会議	会議 録	公表方法		
06	デジタル 戦略推進 課	第二次鹿児島市 DX推進計画	鹿児島市DX推進計画の実施 状況等を踏まえ、次期計画 を策定する。	審議会等	令和7年7月25日							鹿児島市DX推進委員 会	鹿児島市DX推進計 画の進捗について 他	10	2	5	○	○	市HP	公募委員：市内 に住む18歳以上 の人	公募委員：市民の ひろば12月号、 ホームページなど
				(審議会) 主な意見と取扱い																	
				・市が関与することで安心して事業やイベントに参加しやすくなる。私どもの方でも情報収集を続けながらDXの取組を進めていきたい ・デジタル化の取組で不利益を被る方が出ないように取り組んでいただきたい ・市職員の働き方改革では、ツールを使用し効率化を図ることで、企画等の業務に注力していただけたらよい																	
				その他の手法（アンケート等）																	
												その他の手法 （アンケート等）の 名称	協議 （アンケート） 内容	構成・送付数等			公開状況			送付対象者	参加者募集 の周知・ 広報方法等
												総送付 数	総回答 数	-	アン ケー ト内 容	集計 結果	公表方法				
												鹿児島市のデジタル 化に関する市民意識 調査	・回答者の基本属性 ・情報通信機器の利用状 況について ・デジタル化社会につい て ・鹿児島市のデジタル化 の促進について	3,500	1,670		○	○	市HP	年齢・地域を 考慮し、 3,500名を対 象	無作為抽出
アンケートの結果と主な自由意見																					
●アンケート結果（一部抜粋） 問1 情報通信機器の保有状況 スマートフォン 92.7%、テレビ 86.7%、パソコン 57.7%、固定電話 44.3% など 問4 デジタル化の進展によって期待する効果 必要な情報が入手しやすくなる 78.4%、生活が便利になる 57.3% など 問5 デジタル化の進展による懸念理由 個人情報の漏えいやプライバシーの侵害などの危険性が増加する 74.8% ネットワーク犯罪が増加する 72.6% など 問10 鹿児島市の行政デジタル化によって期待すること 市役所に行かなくてもいつでもどこでも手続きができる 68.7% 手続きがより早く完了する 47.3% など ●主な自由意見 ・手続きの進捗状況をオンラインで確認できるようにしてほしい。現在は提出後に不安になることが多いので、見える化があると安心です ・オンライン申請の際に、入力内容の確認画面をもっと分かりやすくして、誤入力を防ぐ工夫をしてほしい ・高齢者向けに、窓口でのサポートとオンライン手続きの併用を進めることで、誰も取り残されない仕組みになると 思います																					

令和7年度 市民参画手続 実施状況詳細

番号	所管課	施策の名称	施策の概要 (策定の趣旨等)	手続区分	実施時期 (期間)	パブコメ						審議会・ワークショップ・意見交換会等															
						パブコメ周知・公表方法			参加状況			審議会・ワーク ショップ・意見交換 会等の名称	審議（協議）内容	委員構成等			公開状況			参加者の 要件 (参加対象)	参加者募集 の周知・ 広報方法						
						市民の ひろば	必須設置箇所 以外の供覧場所等	左記以外の 周知方法	意見 提出者数	提出方法	意見 件数			総委員 数	公募委 員数	女性 委員 数	会議	会議 録	公表方法								
07	管財課	第2期鹿児島市 公共施設等総合 管理計画	公共施設等総合管理計画に ついて、令和7年度末で第 1期の計画期間を満了する ことから、第2期計画を策 定するもの	パブリック コメント	令和7年12月22日～ 令和8年2月5日	令和8年 1月号	・福祉館、高齢者福 祉センター、校区公 民館など189箇所	SNS (フェイスブック、X、 LINE公式アカウント)	9人	郵送(6) 電子(3) メール(0) FAX(0) 窓口等(0)	35件																
																						(パブコメ) 検討結果及び反映した主な意見					
																						① 意見の趣旨等を反映し、計画に盛り込むもの 0件 ② 意見の趣旨等は、計画（案）に盛り込み済みのもの 10件 ③ 計画には盛り込まないもの 1件 ④ 具体的な事業の実施にあたり参考とするもの 0件 ⑤ その他要望・意見等 24件					
08	管財課	第2期鹿児島市 公共施設配置適 正化計画	公共施設配置適正化計画に ついて、令和7年度末で第 1期の計画期間を満了する ことから、第2期計画を策 定するもの	パブリック コメント	令和7年12月22日～ 令和8年2月5日	令和8年 1月号	・福祉館、高齢者福 祉センター、校区公 民館など189箇所	SNS (フェイスブック、X、 LINE公式アカウント)	15人	郵送(10) 電子(5) メール(0) FAX(0) 窓口等(0)	27件																
																						(パブコメ) 検討結果及び反映した主な意見					
																						① 意見の趣旨等を反映し、計画に盛り込むもの 0件 ② 意見の趣旨等は、計画（案）に盛り込み済みのもの 3件 ③ 計画には盛り込まないもの 10件 ④ 具体的な事業の実施にあたり参考とするもの 9件 ⑤ その他要望・意見等 5件					

令和7年度 市民参画手続 実施状況詳細

番号	所管課	施策の名称	施策の概要 (策定の趣旨等)	手続区分	実施時期 (期間)	パブコメ						審議会・ワークショップ・意見交換会等									
						パブコメ周知・公表方法			参加状況			審議会・ワーク ショップ・意見交換 会等の名称	審議（協議）内容	委員構成等			公開状況			参加者の 要件 (参加対象)	参加者募集 の周知・ 広報方法
						市民の ひろば	必須設置箇所 以外の供覧場所等	左記以外の 周知方法	意見 提出者数	提出方法	意見 件数			総委員 数	公募委 員数	女性 委員 数	会議	会議 録	公表方法		
09	男女共同 参画推進 課	第3次鹿児島市 男女共同参画計 画	国の男女共同参画基本計画 や社会情勢の変化等を踏ま え、第3次鹿児島市男女共同 参画計画の見直しを行う。	審議会等	令和7年8月21日							鹿児島市男女共同参 画審議会	本市の男女共同参 画の推進状況につ いて	20	4	13	○	○	市ＨＰ	公募委員：市内 に住む18歳以上 の人	公募委員：市民 のひろば、ホー ムページなど
				(審議会) 主な意見と取扱い																	
				○制度を変えるときにも、女性が意識を上げていかないことにはなかなか男女共同参画は成り立たないと思う。 ○令和7年度の「男女共同参画に関する市民意識調査」はどのように実施されるのか。 ○法律も男女ともに働き続けやすい制度にその時々々の社会情勢などに合わせて改正されてきているので、市の「かご しまのアンコンシャス・バイアス見える化事業」など、男性も女性も意識改革を進める必要がある。 ○昨年度から取り組んでいる「育児の日（１９日）周知」の状況はどうか。 ○自身の経験から会社も何かの転機があれば変われるということを実感しており、経営のトップの考えを変えていく ことが重要である。また、経営判断するところに女性がいることの重要性も感じている。 ○「育児の日（１９日）周知」による年休取得や定時退庁を育児のためにとっているのか。ただ年休が取りやす くなったというだけでは困る。この「育児の日」や「時差出勤の活用」というところをもう少し女性活躍の推進に フォーカスして取り組んでいただけたらと思う。 →意見を踏まえながら見直し素案を作成																	
				その他の手法（アンケート等）																	
												その他の手法 （アンケート等）の 名称	協議 （アンケート） 内容	総送付 数	総回答 数	－	アン ケート 内 容	集計 結果	公表方法	送付対象者	参加者募集 の周知・ 広報方法等
												男女共同参画に関す る市民意識調査	・回答者の属性 ・男女平等意識 ・性別役割分担 意識 ・人権・暴力 等	2,000	661	－	○	○	市ＨＰ	18歳以上の市 民	無作為抽出
アンケートの結果と主な自由意見																					
●アンケート結果 送付数：2,000件 回答数：661件（内オンライン回答404件 回答数の61.1％） 回答率：33.1％ 「男性は仕事、女性は家庭」の考え方 問5 「男性は仕事、女性は家庭」という考え方についてどう思いますか。 回答：賛成 20.6％ 反対 65.2％ わからない 14.2％ 無回答 0.0％ 問6「男性は仕事、女性は家庭」と考える理由（問5で賛成と答えた方） 回答：男性は仕事、女性は家事・育児に向いているから 46.3％ 男女の役割をはっきりと分ける方が仕事も家庭もうまくいくから 35.3％ 子どもの頃からそうした教育をされているから 27.2％ 家族を養うのは男性の責任で、子育てや家族の世話は女性の責任だから 21.3％ 社会全体にそうした風潮があるから 18.4％ 女性は仕事を持ってても不利な条件に置かれるから 16.2％ その他の主な意見 14.7％ ・男性の育児は誰でも出来ないから ・育児のためには母親と一緒に過ごす時間が長い方がいいように思う ・家庭を持ち子どもを産み育てる場合、女性がある一定期間、仕事を離れることは不可避だから ・子供にとって母親が近くにいることは大切だと思う ・子育てと仕事の両立は体力的に厳しい。仕事をしながらの家事の比率はどうしても女性が多いから 社会全体の女性の働きやすさ 問12 社会全体として女性が働きやすい状況にあると思いますか。 回答：働きやすい 5.6％ ある程度働きやすい 47.8％ あまり働きやすいとは言えない 30.4％ 働きにくい 7.1％わ からない 8.2％ 無回答 0.9％																					

令和7年度 市民参画手続 実施状況詳細

番号	所管課	施策の名称	施策の概要 (策定の趣旨等)	手続区分	実施時期 (期間)	パブコメ						審議会・ワークショップ・意見交換会等									
						パブコメ周知・公表方法			参加状況			審議会・ワーク ショップ・意見交換 会等の名称	審議（協議）内容	委員構成等			公開状況			参加者の 要件 (参加対象)	参加者募集 の周知・ 広報方法
						市民の ひろば	必須設置箇所 以外の供覧場所等	左記以外の 周知方法	意見 提出者数	提出方法	意見 件数			総委員 数	公募委 員数	女性 委員 数	会議	会議 録	公表方法		
10	健康福祉 政策課	第6期鹿児島市 地域福祉計画	令和9年度からの第6期計画 を策定するもの	審議会等	令和7年7月29日 令和8年2月5日							鹿児島市地域福祉計 画推進委員会	・地域福祉計画の 進行状況の確認及 び推進のための方 策の検討に関する こと ・地域福祉計画の 見直しに関するこ と 等	21	4	9	○	○	市HP	公募委員：市 内に住むか通 勤・通学する 18歳以上の人	公募委員：市民 のひろば5月 号、ホームペー ジなど
				その他（ア ンケート方 式）	令和7年9月1日～ 令和7年10月3日							（審議会）主な意見と取扱い									
												○第5期地域福祉計画に関連する市の事業等について ・介護人材について、もっと予算をかけて人材の育成、確保や処遇改善に取り組むべき。 ⇒次期高齢者保健福祉・介護保険事業計画の計画策定に向け、秋ごろに介護サービス事業者に対し、 人材、処遇を含めたアンケート調査を予定しており、その結果を踏まえ検討したい。									
												○第6期地域福祉計画策定について ・都市部はマンションが乱立し、見守り活動をしようにも中に入れず、どういう方が住んでいるかも分からない。 特に、高齢者の情報は市から民生委員へ出していただきたい。計画の実効性にも関係してくる と思うので、声として聞いていただきたい。 ⇒法律の壁もあり、現在、他都市も含め、調査を重ねて実施している。									
												その他の手法（アンケート等）									
												その他の手法 （アンケート等）の 名称	協議 （アンケート） 内容	構成・送付数等			公開状況			送付対象者	参加者募集 の周知・ 広報方法等
														総送付 数	総回答 数	－	アン ケート 内容	集計 結果	公表方法		
												市民意識調査（鹿児 島市の地域福祉に関 するアンケート調 査）	次期計画の策定に あたり、地域福祉 に対するご意見等 を把握し、計画に 反映する基礎資料 とするため	3500	1791	－	公 表 予 定	公 表 予 定	計画に掲載 予定（計画 はHPで公 表予定）	鹿児島市に在 住する16歳以 上の市民 3,500人	住民基本台帳 データベースか ら無作為抽出
												アンケートの結果と主な自由意見									
												●アンケート結果 送付数：3,500件 回答数：1,791 回答率：51.2% 問9 あなたは、悩みや不安を感じたとき、誰に（どこに）相談することが多いですか。 回答： 家族・親類81.2%、友人・知人45.1%、近所の人3.4%、町内会・コミュニティ協議会等の地域団体0.5% など 問14-1 地域で助け合うことは大切であり、そのためにも日頃の交流が必要 回答： そう思う27.1%、ややそう思う27.8% 問14-2 困ったことがあれば地域で助け合うべきだと思うが、日頃の交流はしたくない 回答： そう思う7.9%、ややそう思う24.1%、どちらとも言えない37.7% ●自由意見 ・町内会加入者が減っていくし、辞める人も増えていって、役員決めもなかなか大変な状況である。 ・町内会に加入していても交流がほとんどなく、どなたが困っているとかが助けが必要とか全く分からないので、ま ず、身近なところから交流できる制度を作っていかないと、皆仕事もしているからよく分からないと思う。頼まれれ ば、出来ることは手助けしたいとは思っている。									

令和7年度 市民参画手続 実施状況詳細

番号	所管課	施策の名称	施策の概要 (策定の趣旨等)	手続区分	実施時期 (期間)	パブコメ						審議会・ワークショップ・意見交換会等															
						パブコメ周知・公表方法			参加状況			審議会・ワーク ショップ・意見交換 会等の名称	審議（協議）内容	委員構成等			公開状況			参加者の 要件 (参加対象)	参加者募集 の周知・ 広報方法						
						市民の ひろば	必須設置箇所 以外の供覧場所等	左記以外の 周知方法	意見 提出者数	提出方法	意見 件数			総委員 数	公募委 員数	女性 委員 数	会議	会議 録	公表方法								
11	認知症支 援室	第2期成年後見 制度利用促進計 画（第6期鹿児島地 域福祉計画と一 体的に策定）	令和9年度からの第2期計 画を策定するもの	審議会等	令和7年7月29日 令和8年2月5日							鹿児島市地域福祉計 画推進委員会	・地域福祉計画の 進行状況の確認及 び推進のための方 策の検討に関する こと ・地域福祉計画の 見直しに関するこ と 等	21	4	9	○	○	市HP	公募委員：市 内に住むか通 勤・通学する 18歳以上の人	公募委員：市 民のひろば5月 号、ホームペー ジなど						
												(審議会) 主な意見と取扱い															
												成年後見制度利用促進計画は第5期地域福祉計画に包含されており、第2期成年後見制度利用促進計画も第6期地域福祉計画に包含予定であることを確認															
				その他（ア ンケート方 式）	令和7年9月1日～ 令和7年10月3日 （鹿児島市の地域 福祉に関するア ンケート調査内で 実施）							その他の手法（アンケート等）															
												その他の手法 （アンケート等）の 名称	協議 （アンケート） 内容	構成・送付数等			公開状況			送付対象者	参加者募集 の周知・ 広報方法等						
														総送付 数	総回答 数	－	ア ン ケ ー ト 内	集計 結果	公表方法								
市民意識調査 （鹿児島市の地域福祉に関するアンケート調査内で実施）	成年後見制度利用促進のため、認知状況や利用促進に関する意識を把握するもの	3,500	1,791									－	公表 予定	公表 予定	計画に掲載予定（計画はHPで公表予定）	鹿児島市に在住する16歳以上の市民3,500人	住民基本台帳データベースから無作為抽出										
アンケートの結果と主な自由意見																											
●アンケート結果 送付数：3,500件 回答数：1,791件 回答率：51.2% 問30 あなたは、成年後見制度を知っていますか。 回答：「制度の名称は知っているが、制度の内容は詳しく知らない」47.2%、「知らない」29.3%、「制度の名称だけではなく、制度の内容も知っている」22.2%、無回答 1.2% 問31 成年後見制度が利用しやすいものとなるためには、どのようなことが重要であると思いますか。（複数回答：問30で「制度の名称だけではなく、制度の内容も知っている」と答えられた方：398人を対象） 回答：「法的な問題が生じた場合、弁護士などによる助言が得られる体制の整備」48.5%、「本人の意向や状況を踏まえた適切な後見人の選任」48.0%、「身近な相談窓口の存在」47.5%、「制度内容を知る機会の充実（パンフレットや説明会など）」37.2%、「本人の状況等に合わせて成年後見人等の交代を可能とする仕組み」29.6%など																											

令和7年度 市民参画手続 実施状況詳細

番号	所管課	施策の名称	施策の概要 (策定の趣旨等)	手続区分	実施時期 (期間)	パブコメ						審議会・ワークショップ・意見交換会等												
						パブコメ周知・公表方法			参加状況			審議会・ワーク ショップ・意見交換 会等の名称	審議（協議）内容	委員構成等			公開状況			参加者の 要件 (参加対象)	参加者募集 の周知・ 広報方法			
						市民の ひろば	必須設置箇所 以外の供覧場所等	左記以外の 周知方法	意見 提出者数	提出方法	意見 件数			総委員 数	公募委 員数	女性 委員 数	会議	会議 録	公表方法					
12	地域福祉課	第2期再犯防止 推進計画 (第6期鹿児島市 地域福祉計画と 一体的に実施)	令和9年度からの第2期計 画を策定するもの	審議会等	令和7年7月29日 令和8年2月5日							鹿児島市地域福祉計 画推進委員会	・地域福祉計画の 進行状況の確認及 び推進のための方 策の検討に関する こと ・地域福祉計画の 見直しに関するこ と等	21	4	9	○	○	市HP	公募委員：市 内に住むか通 勤・通学する 18歳以上の人	公募委員：市 民のひろば5月 号、ホームペー ジなど			
												(審議会) 主な意見と取扱い												
												再犯防止推進計画は第5期地域福祉計画に包含されており、第2期再犯防止推進計画も第6期地域福祉計画に包含予定であることを確認												
				その他（ア ンケート方 式）	令和7年9月1日～ 令和7年10月3日 (鹿児島市の地域 福祉に関するア ンケート調査内 で実施)										その他の手法（アンケート等）									
															その他の手法 (アンケート等) の 名称	協議 (アンケート) 内容	構成・送付数等			公開状況			送付対象者	参加者募集 の周知・ 広報方法等
																	総送付 数	総回答 数	－	ア ン ケ ー ト 内 容	集計 結果	公表方法		
															市民意識調査（鹿児 島市の地域福祉に関 するアンケート調査 内で実施）	次期計画の策定に あたり、地域福祉 に対するご意見等 を把握し、計画に 反映する基礎資料 とするため	3500	1791	－	公 表 予 定	公 表 予 定	地域福祉計 画に掲載予 定（計画は HPで公表 予定）	鹿児島市に在 住する16歳以 上の市民 3,500人	住民基本台帳 データベースか ら無作為抽出
アンケートの結果と主な自由意見																								
●アンケート結果 送付数：3,500件 回答数：1,791 回答率：51.2% 「問15 あなたは、鹿児島市の福祉施策について、今後、何に力を入れるべきとお考えですか。（複数選択可）」につ いて、「再犯防止」を選択した人は6.6%となっている。																								

令和7年度 市民参画手続 実施状況詳細

番号	所管課	施策の名称	施策の概要 （策定の趣旨等）	手続区分	実施時期 （期間）	パブコメ						審議会・ワークショップ・意見交換会等									
						パブコメ周知・公表方法			参加状況			審議会・ワーク ショップ・意見交換 会等の名称	審議（協議）内容	委員構成等			公開状況			参加者の 要件 （参加対象）	参加者募集 の周知・ 広報方法
						市民の ひろば	必須設置箇所 以外の供覧場所等	左記以外の 周知方法	意見 提出者数	提出方法	意見 件数			総委員 数	公募委 員数	女性 委員 数	会議	会議 録	公表方法		
13	長寿支援課	第10期高齢者保健福祉・介護保険事業計画（認知症オレンジシティかごしま推進計画と一体的に策定）	本計画は、3年ごとに見直しを行うこととしており、現在の第9期高齢者保健福祉・介護保険事業計画が8年度までの計画期間であることから、9年度から11年度までを計画期間とする第10期高齢者保健福祉・介護保険事業計画を策定する。	その他（アンケート方式）	令和8年1月9日～令和8年2月6日							その他の手法（アンケート等）									
												その他の手法 （アンケート等）の 名称	協議 （アンケート） 内容	構成・送付数等			公開状況			送付対象者	参加者募集 の周知・ 広報方法等
														総送付 数	総回答 数	－	アン ケート 内 容	集計 結果	公表方法		
												高齢者等実態調査	高齢者等の日常生活の実態や介護保険サービス等に対するニーズを把握し、次期計画を策定する上で必要となる基礎資料を得るため	5500	3106		○	○	市ＨＰ	65歳以上の高齢者、40歳以上65歳未満の者	無作為抽出
												アンケートの結果と主な自由意見									
												●アンケート結果 ・一般高齢者調査 送付数：2,000件 回答数：1,351件 回答率：67.6% ・若年者調査 送付数：2,000件 回答数：888件 回答率：44.4% ・在宅要介護（要支援）者調査 送付数：1,500件 回答数：867件 回答率：57.8% 個別調査（一般高齢者実態調査）問31 あなたは、認知症の相談窓口を知っていますか。知っている場合、どの相談窓口を知っていますか。（複数回答） 回答：「知らない」42.0%、「長寿あんしん相談（地域包括支援）センター」36.7%、「医療機関」25.8%、「市役所」13.7%、「保健所・保健センター」11.2%、「認知症疾患医療センター」5.4%、「認知症の人と家族の会」1.7%、「その他」0.9%、無回答 3.6% 個別調査（在宅要介護（要支援）者調査）問38 あなたは、「在宅医療」について知っていますか。また、在宅医療を利用したいと思いますか。 回答：「知っており、利用している（または、今後利用したいと思っている）」22.6%、「知らない」16.4%、「知っているが、利用したいとは思わない」15.9%、「知らなかったが、今後、利用したい」14.1%、「知っており、利用したいが、在宅医療を提供している医療機関がわからない」10.7%、「知っており、利用したいが、医療費や介護負担などの問題から利用できない」8.1%、無回答 12.2%									

令和7年度 市民参画手続 実施状況詳細

番号	所管課	施策の名称	施策の概要 （策定の趣旨等）	手続区分	実施時期 （期間）	パブコメ						審議会・ワークショップ・意見交換会等									
						パブコメ周知・公表方法			参加状況			審議会・ワーク ショップ・意見交換 会等の名称	審議（協議）内容	委員構成等			公開状況			参加者の 要件 （参加対象）	参加者募集 の周知・ 広報方法
						市民の ひろば	必須設置箇所 以外の供覧場所等	左記以外の 周知方法	意見 提出者数	提出方法	意見 件数			総委員 数	公募委 員数	女性 委員 数	会議	会議 録	公表方法		
14	認知症支 援室	認知症オレンジ シティかごしま 推進計画 （第10期高齢者 福祉計画及び介 護保険事業計画 と一体的に策 定）	認知症基本法に基づく、本 市の認知症施策推進計画と して、認知症の本人やそ の家族等の意見を取り入れ ながら「認知症オレンジ シティかごしま推進計画」を 「第10期高齢者福祉計画及 び介護保険事業計画」と一 体的に策定する。	意見交換会 等	令和7年5月27日 令和7年10月31日 令和8年2月3日							意見交換会（本人 ミーティング・家族 交流会）	市の認知症施策の 立案などに活用す るために、意見を 把握するもの。	34人 参加			×	公 表 予 定	計画の資料 の一部とし て公表	認知症と診断 を受けた方、 もの忘れでお 悩みの方ご本 人とその家族	市民のひろば、 市主催認知症関 連イベント内での案内、庁舎内 窓口への案内チラシ設置
				（審議会）主な意見と取扱い																	
				●自由意見 （本人ミーティング） ・同じ境遇の人と話す機会は貴重である、認知症という言葉はまだ否定的に捉えられるため、前向きな表現で使われて欲しい、どこにどのような順番で相談したらいいか示すものがあったら助かるなど。 （家族交流会） ・介護者の身体面、精神面を解放できる機会があって助かる、自分よりも介護経験がある方の話が聞けて勉強になったなどの意見があるなど。																	
				その他の手法（アンケート等）																	
				その他（アンケート方式）	令和7年9月～ 令和8年1月							その他の手法 （アンケート等）の 名称	協議 （アンケート） 内容	構成・送付数等			公開状況			送付対象者	参加者募集 の周知・ 広報方法等
												総送付 数	総回答 数	-	アンケート 内容	集計 結果	公表方法				
												認知症の人及び家族 への個別聞き取り調査	生活状況や心境について、 症状への気付きから相談治療への経緯、 周囲へ望むことなどについて、 インタビュー形式のアンケートにより把握する	220	193		○	○	市HP	市内の要支援・要介護認定を受けている「もの忘れ」等の自覚がある認知症の本人とその家族（本人と家族1組で1件）	調査員となる地域包括支援センター職員及び市内居宅介護支援事業所所属の介護支援専門員がケアプランを作成・管理している方から左記対象者を選定
												アンケートの結果と主な自由意見									
												●アンケート結果 調査件数：193件（本人及び家族：190件、本人のみ：3件） ※ 質問への回答は選択式ではなく、全て自由意見。下記の結果は回答を類型化したもの。 ・本人への質問⑥ もっと暮らしやすくなるために、今後の地域での支えや支援の仕組みであつたらいいなと思うものがありますか？（複数回答） 回答：「地域の集い/サロン・茶話会・居場所」21件、「送迎/移動支援（バス・乗合・無料送迎など）」16件、「見守り/声かけ・定期訪問」11件、「買い物支援/移動販売・行商」11件、「特になし/わからない」105件など ・家族への質問⑧ もっと暮らしやすくなるために、今後の地域での支えや支援の仕組みであつたらいいなと思うものがありますか？（複数回答） 回答：「見守り/定期訪問・安否確認」35件、「居場所/サロン・茶話会・広場」28件、「移動手段/外出支援（送迎・乗合）」20件、「啓発/理解促進・偏見解消」12件、「特になし」44件など									

令和7年度 市民参画手続 実施状況詳細

番号	所管課	施策の名称	施策の概要 (策定の趣旨等)	手続区分	実施時期 (期間)	パブコメ						審議会・ワークショップ・意見交換会等										
						パブコメ周知・公表方法			参加状況			審議会・ワーク ショップ・意見交換 会等の名称	審議（協議）内容	委員構成等			公開状況			参加者の 要件 (参加対象)	参加者募集 の周知・ 広報方法	
						市民の ひろば	必須設置箇所 以外の供覧場所等	左記以外の 周知方法	意見 提出者数	提出方法	意見 件数			総委員 数	公募委 員数	女性 委員 数	会議	会議 録	公表方法			
15	保健政策課	鹿児島市新型インフルエンザ等 対策行動計画	国において、新型コロナ対応の課題が整理され、国・ 県の計画が改定されたこと を受け、本市行動計画の改 定を行う。	パブリック コメント	令和7年12月19日～ 令和8年2月3日	令和8年 1月号	・福祉館 ・高齢者福祉セン ター など128か所	鹿児島市医師会 鹿児島市薬剤師会 鹿児島市歯科医師会	2人	郵送(2) 電子() メール() FAX() 窓口等()	11件											
				(パブコメ) 検討結果及び反映した主な意見																		
				① 意見の趣旨等を反映し、計画案に盛り込むもの 5件 ② 意見の趣旨等は、計画案に盛り込み済みのもの 2件 ③ 計画案に盛り込まないもの 0件 ④ 具体的な事業の実施にあたり参考とするもの 0件 ⑤ その他要望・意見等 4件 〈反映した主な意見〉 ・新型インフルエンザ等の発生状況や感染状況などのグラフや表がなく、必要なところへ記載するとわかりやすいと思う。 →ご意見を踏まえ、P11「新型コロナウイルス感染症対応での経験」に本市における新型コロナウイルス感染症新規感 染者の推移を追加します。 ・行政側と医療機関、関係団体、市民の役割分担や協力体制を図で示してもらいたい。 →ご意見を踏まえ、P27に体系図を追加します。 ・県の施策にPDCAサイクルに基づいて改善を図るとあるが、市もPDCAサイクル図を表示した方が理解できると思う。 →ご意見を踏まえ、P33にPDCAサイクル図を追加します。																		

令和7年度 市民参画手続 実施状況詳細

番号	所管課	施策の名称	施策の概要 (策定の趣旨等)	手続区分	実施時期 (期間)	パブコメ						審議会・ワークショップ・意見交換会等									
						パブコメ周知・公表方法			参加状況			審議会・ワーク ショップ・意見交換 会等の名称	審議（協議）内容	委員構成等			公開状況			参加者の 要件 (参加対象)	参加者募集 の周知・ 広報方法
						市民の ひろば	必須設置箇所 以外の供覧場所等	左記以外の 周知方法	意見 提出者数	提出方法	意見 件数			総委員 数	公募委 員数	女性 委員 数	会議	会議 録	公表方法		
16	保健政策課	次期かごしま市 食育推進計画	令和8年度までの現計画(第 四次かごしま市食育推進計 画)の実施状況を踏まえ、次 期計画を策定する。	審議会等	令和7年7月17日							鹿児島市食育推進委 員会	第四次かごしま市食 育推進計画の最終評 価及び次期計画策定 に向けた今後の進め 方	17	3	8	○	○	市HP	公募委員：市 内に住む18歳 以上の人	市民のひろば3 月号、ホーム ページなど
				その他（ア ンケート方 式）	令和7年10月8日～ 31日							(審議会) 主な意見と取扱い									
												・調査方法がオンラインによる回答になっているが、オンラインでの回答が難しい高齢者等もいると思う。 →オンラインで回答が難しい場合は、連絡をいただき、調査票を郵送で送付する旨を記載した依頼文を送付する予定である。 ・食事に關する作法の設問で、近年握力の低下等の様々な要因で、おはしを上手に持てない人（子）や器を持って食べない人（子）もいる現状があるので、意識づけのために設問を残した方がよいのではないか。 →残す方向で検討する。									
												その他の手法（アンケート等）									
												その他の手法 （アンケート等）の 名称	協議 （アンケート） 内容	構成・送付数等			公開状況			送付対象者	参加者募集 の周知・ 広報方法等
														総送付 数	総回答 数	-	アン ケート 内容	集計 結果	公表方法		
												食育に関する市民意 識調査	・食育への関心度 ・栄養バランス等に 気をつけた食生活の 実践 ・朝食摂取状況 ・食文化の継承 など	4000	1907		○	○	市HP	年齢を考慮 し、4000名を 対象	無作為抽出
												アンケートの結果と主な自由意見									
												【アンケートの結果】 ・回答者の属性は、18歳以上が男性40.8%、女性58.9%、年齢は70代が最も多く22.0%、次いで60代、50代となっている。中学生以上18歳未満がが男性44.3%、女性54.1%、年齢は中学3年生が最も多く18.9%、次いで、中学2年生、同率で中学1年生、高校3年生となっている。未就学児・小学生が男性50.2%、女性48.9%、年齢は未就学児が最も多く29.5%、次いで、小学6年生、小学1年生となっている。 ・食育への関心度は、18歳以上が83.2%、中学生から18歳未満が73.0%、未就学児・小学生の保護者が96.0%の人が食育に関心がある。 ・朝食摂取状況は、18歳以上が80.3%、中学生から18歳未満が85.4%、未就学児・小学生が95.4%の人が「ほとんど毎日」朝食を食べている。 ・農林漁業体験の有無は、18歳以上が56.3%、中学生から18歳未満が71.9%、未就学児・小学生が87.9%の人が農林漁業体験をしたことがある。									

令和7年度 市民参画手続 実施状況詳細

番号	所管課	施策の名称	施策の概要 (策定の趣旨等)	手続区分	実施時期 (期間)	パブコメ						審議会・ワークショップ・意見交換会等										
						パブコメ周知・公表方法			参加状況			審議会・ワーク ショップ・意見交換 会等の名称	審議（協議）内容	委員構成等			公開状況			参加者の 要件 (参加対象)	参加者募集 の周知・ 広報方法	
						市民の ひろば	必須設置箇所 以外の供覧場所等	左記以外の 周知方法	意見 提出者数	提出方法	意見 件数			総委員 数	公募委 員数	女性 委員 数	会議	会議 録	公表方法			
17	青果市場	鹿児島市中央卸 売市場経営展望 後期計画	令和3年度からの鹿児島市中 央卸売市場経営展望の実施 状況を踏まえ、令和8年度か ら12年度までの後期計画を 策定する。	パブリック コメント	令和7年12月26日～ 令和8年2月9日	令和7年 12月号	・青果市場 ・魚類市場 ・都市農業センター ・観光農業公園（グ リーンファーム）の4 箇所		4人	郵送(2) 電子(1) メール(0) FAX(0) 窓口等(1)	26件											
(パブコメ) 検討結果及び反映した主な意見																						
① 意見の趣旨等を反映し、計画案に盛り込むもの 4件 ② 意見の趣旨等は、計画案に盛り込み済みのもの 8件 ③ 計画案に盛り込まないもの 3件 ④ 具体的な事業の実施にあたり参考とするもの 6件 ⑤ その他要望・意見等 5件																						
(反映した主な意見) ①「地震や台風などの災害時にも」を「桜島大噴火や地震、台風などの災害時にも」とした方がより理解できる。 ②魚類市場の輸出額については、現在の輸出先と金額（上位3か国）を記載した方が理解できる。 ③「衛生品質管理マニュアルに基づき」は「H A C C Pを取り入れた衛生品質管理マニュアルに基づき」とした方が、 H A C C Pを導入した意義がある。 ④後期計画の推進について行政、関係団体、協議会等と協議し、各年度の達成度を確認するためP D C Aサイクル図を 示し推進してもらいたい。																						
(それぞれの対応) ①「地震や台風などの災害時」を「桜島大規模噴火や地震、台風などの災害時」に修正した。 ②令和6年度の輸出額の状況を「2 本市の動向 (9) 魚類市場の輸出金額の推移」に記載した。 ③「衛生品質管理マニュアルに基づき」を「H A C C Pに沿った衛生管理マニュアルに基づき」に修正した。 ④P 3 8 の 1 行目に「P D C Aサイクルを踏まえた進捗管理を行い」を加えるとともに、サイクル図を表記した。																						

令和7年度 市民参画手続 実施状況詳細

番号	所管課	施策の名称	施策の概要 (策定の趣旨等)	手続区分	実施時期 (期間)	パブコメ						審議会・ワークショップ・意見交換会等										
						パブコメ周知・公表方法			参加状況			審議会・ワーク ショップ・意見交換 会等の名称	審議（協議）内容	委員構成等			公開状況			参加者の 要件 (参加対象)	参加者募集 の周知・ 広報方法	
						市民の ひろば	必須設置箇所 以外の供覧場所等	左記以外の 周知方法	意見 提出者数	提出方法	意見 件数			総委員 数	公募委 員数	女性 委員 数	会議	会議 録	公表方法			
18	観光戦略 推進課	宿泊税検討事業	持続可能な観光地づくりに 向け、新たな観光財源とし て「宿泊税」について検討 を進める。	パブリック コメント	令和7年12月19日～ 令和8年2月3日	令和8年 1月号	・福祉館 ・親子つどいの広場 ・児童センター など109箇所	・SNS (Facebook、 LINE、X) での情報発信 ・市内宿泊施設への個 別案内	12人・ 1団体	郵送 (1) 電子 (6) メール (0) FAX (4) 窓口等 (2)	50件											
				(パブコメ) 検討結果及び反映した主な意見																		
				① 意見の趣旨等を反映し、制度案に盛り込むもの 0件 ② 意見の趣旨等は、制度素案に盛り込み済みのもの 15件 ③ 制度案に盛り込まないもの 9件 ④ 具体的な事業の実施にあたり参考とするもの 9件 ⑤ その他要望・意見等 17件																		
				審議会等	令和7年7月3日 令和7年8月25日 令和7年10月24日 令和7年11月21日							鹿児島市宿泊税検討 委員会	宿泊税の制度設計 等について	6	0	0	○	○	市HP	学識経験者、 宿泊事業者、 観光関連事業 者等	—	
				(審議会) 主な意見と取扱い																		
・検討委員会から市へ提出された制度設計等についてとりまとめられた報告書の内容を踏まえ、市としての制度素案 をとりまとめた。 ・検討委員会からは、「今後、鹿児島市が国内外から選ばれる持続可能な観光地づくりに向け、都市の魅力を高め、 更なる観光振興を図る新たな施策等を継続的に展開していくための財源として、宿泊税の導入は適当である」や「検 討委員会で協議した制度設計等の案を踏まえ、引き続き、条例案や必要な予算等の措置について整理していくことが 必要である」などの意見があった。																						
				その他（ア ンケート方 式）	令和7年8月27日～ 令和7年10月20日 令和8年1月13日～ 令和8年2月3日						その他の手法（アンケート等）											
											その他の手法 （アンケート等）の 名称	協議 （アンケート） 内容	構成・送付数等			公開状況			送付対象者	参加者募集 の周知・ 広報方法等		
													総送付 数	総回答 数	－	ア ン ケ ー ト 内 容	集計 結果	公表方法				
											宿泊事業者へのア ンケート調査	・施設概要等 ・望ましい使途 ・事業者への影響 ・制度設計(税率、 免税点、課税免除) ・その他	332	200		○	○	市HP	市内宿泊事業 者	－		
アンケートの結果と主な自由意見																						
【主なアンケート調査結果】 ■施設概要等 旅館・ホテル：39% 簡易宿所：30% 住宅宿泊事業を行う届出住宅（民泊）：31% ■望ましい使途（回答の多かった上位3位を記載、複数回答可） 鹿児島ならではの魅力を活用した体験型観光の推進：71件 誘客力のある観光イベント（夜間・早朝を含む）の創出・充実：66件 観光施設の魅力づくり：64件 ■制度設計 ●税率 一律定額制：60% 段階的定額制：20% 定率制：6% 分からない／何とも言えない：14% ●免税点 設けた方がよい：31% 設けない方がよい：44% 分からない／何とも言えない：25% ●課税免除 設けた方がよい：51% 設けない方がよい：26% 分からない／何とも言えない：23% 【主な自由意見】 ・宿泊税の導入については賛成。使途が重要になる。 ・税率について、一律定額制でないと分かりにくい、事務負担が大きすぎる ・免税点について、免税対象者が把握しにくく、漏れが起こる可能性がある。 ・課税免除について、少なからず修学旅行及び学生団体の誘致に影響があるため設けた方がよい																						

令和7年度 市民参画手続 実施状況詳細

番号	所管課	施策の名称	施策の概要 (策定の趣旨等)	手続区分	実施時期 (期間)	パブコメ						審議会・ワークショップ・意見交換会等									
						パブコメ周知・公表方法			参加状況			審議会・ワーク ショップ・意見交換 会等の名称	審議（協議）内容	委員構成等			公開状況			参加者の 要件 (参加対象)	参加者募集 の周知・ 広報方法
						市民の ひろば	必須設置箇所 以外の供覧場所等	左記以外の 周知方法	意見 提出者数	提出方法	意見 件数			総委員 数	公募委 員数	女性 委員 数	会議	会議 録	公表方法		
19	観光振興課	鹿児島市平川動物公園遊園地・錦江湾公園リニューアル基本構想	平川動物公園遊園地と錦江湾公園のリニューアルに向け、基本構想を策定する。	パブリックコメント	令和7年12月19日～令和8年2月3日	令和8年1月号	・平川動物公園 ・親子つどいの広場 ・児童センター など109箇所	・SNS (Facebook、LINE、X) での情報発信 ・平川動物公園・錦江湾公園周辺町内会への情報提供	20人	郵送(3) 電子(13) メール(3) FAX() 窓口等(1)	99件										
(パブコメ) 検討結果及び反映した主な意見																					
① 意見の趣旨等を反映し、基本構想案に盛り込むもの 3件 ② 意見の趣旨等は、基本構想素案に盛り込み済みのもの 10件 ③ 基本構想案に盛り込まないもの 0件 ④ 具体的な事業の実施にあたり参考とするもの 52件 ⑤ その他要望・意見等 34件 (反映した主な意見) ・P17表「エリア全体の連携策」の中にある「料金等により動物公園内のみで」の文章が、何を意味しているのかわからなかった。料金の高さが施設間移動の乏しさの原因であれば、「コンテンツ導入」という対策と結びつかないのでは。 ⇒ご意見を踏まえ、P15に電動モビリティツアーのコース設定を追記するとともに、P17表中文言を修正させていただきます。 ・鹿児島市も取り入れているSDGsを記載した方がより理解できると思う。 ⇒ご意見を踏まえ、P20「3 リニューアル体系図」にSDGsの表記を掲載させていただきます。																					
20	公園緑化課	甲突川千本桜再生プロジェクト	にぎわいと憩いの空間を創出する新たな桜の名所として甲突川の桜並木を再整備するため、甲突川千本桜再生プロジェクトを策定する	パブリックコメント	令和7年8月14日～令和7年9月22日	令和7年9月号	・福祉館、高齢者福祉センターなど57箇所	甲突川近隣14町内会への情報提供	14人	郵送(3) 電子(10) メール(0) FAX(1) 窓口等(0)	70件										
(パブコメ) 検討結果及び反映した主な意見																					
① 意見の趣旨等を反映し、基本計画（案）に盛り込むもの 1件 ② 意見の趣旨等は、基本計画（案）に盛り込み済みのもの 29件 ③ 基本計画（案）に盛り込まないもの 2件 ④ 具体的な事業の実施にあたり参考とするもの 14件 ⑤ その他要望・意見等 24件 (反映した主な意見) 【意見内容】 地域で一体化して、千本桜を守り育てることは、個別化した現代の中で会話のきっかけになり、人と人のつながりも守り育まれると考える。その一方で、少子高齢化のなかでは、千本桜を守り育てる人材不足が懸念されると考え、資料の中でも35ページに人材不足が懸念されるとの言葉があった。そのため、地域の人々の協力とともに、専門的な知識を持つ人材の育成や獲得についても、検討することが今後必要になると考える。 【対応方針】 全体版P22の「施策10」及びP35の「■千本桜を育み、守り育てるしくみづくり」において、「千本桜の維持・保全を担う専門的な人材の育成」に関する文言を追加。																					

令和7年度 市民参画手続 実施状況詳細

番号	所管課	施策の名称	施策の概要 (策定の趣旨等)	手続区分	実施時期 (期間)	パブコメ						審議会・ワークショップ・意見交換会等									
						パブコメ周知・公表方法			参加状況			審議会・ワーク ショップ・意見交換 会等の名称	審議（協議）内容	委員構成等			公開状況			参加者の 要件 (参加対象)	参加者募集 の周知・ 広報方法
						市民の ひろば	必須設置箇所 以外の供覧場所等	左記以外の 周知方法	意見 提出者数	提出方法	意見 件数			総委員 数	公募委 員数	女性 委員 数	会議	会議 録	公表方法		
21	都市景観課	歴史景観エリア 夜間景観基本計画	市民参加による新たなにぎ わい創出や愛着と誇りが持 てる夜間景観の形成を図る ために、歴史景観エリアに おいて、夜間景観基本計画 を策定する。	パブリック コメント	令和7年5月22日～ 令和7年6月30日	令和7年 6月号	・かごしま近代文学館 ・メルヘン館 ・市立美術館 ・まち歩き 観光ステーション ・県立図書館	・ホームページ ・報道提供	2人	郵送(2) 電子() メール() FAX() 窓口等()	13件										
				(パブコメ) 検討結果及び反映した主な意見																	
				① 意見の趣旨等を反映し、計画案に盛り込むもの 2件 ② 意見の趣旨等は、計画案に盛り込み済みのもの 1件 ③ 計画案に盛り込まないもの 1件 ④ 具体的な事業の実施にあたり参考とするもの 6件 ⑤ その他要望・意見等 3件																	
				(反映した主な意見) ・P 5、5 行目 ～夜間景観の形成〈や観光客誘致を〉図る～ とするとよい ※〈 〉内が追加の意見 ・鹿児島市も取り入れている、SDGs をこの計画内へ記載した方がよい。																	
				審議会等	令和7年8月21日							鹿児島市景観審議会	基本計画案について	7	0	3	○	○	市HP	学識経験者（法律、生活環境、都市デザイン、日本史、建築）、その他（広告経済界、色彩）	—
				(審議会) 主な意見と取扱い																	
				・「大切にすべき光のルール」を視覚的に分かるようにしてもらいたい。 ・概要版は、よりコンパクトに、かつ、理解しやすい構成にしてもらいたい。 ・本計画を作った趣旨を多くの市民や観光客等に理解してもらうため、趣旨を説明する案内板を作ることをお願いしたい。 ・本計画を理解してもらうため、市内部だけでなく、国や県、関係のある民間団体等と情報共有を図るような取り組みをお願いしたい。																	
22	都市景観課	水辺景観エリア 夜間基本計画	市民参加による新たなにぎ わい創出や愛着と誇りが持 てる夜間景観の形成を図る ために、水辺景観エリアに おいて、夜間景観基本計画 を策定する。	審議会等	令和8年2月5日 令和8年3月26日							鹿児島市景観審議会	第1回：骨子案の審議 第2回：素案の審議	7	0	3	○	○	市HP	学識経験者（法律、生活環境、都市デザイン、日本史、建築）、その他（広告経済界、色彩）	—
				(審議会) 主な意見と取扱い																	
				・夜間景観基本計画の構成において、課題や目標を前面に示すような構成づくりをお願いしたい。 ・今後は周辺を含む昼間の景観形成についても検討が必要であることの記述をお願いしたい。 ・水辺空間エリア特有の効果、或いは魅力を取り込んだ記述をお願いしたい。 ・対象エリアの拡大等、今後の展望を考慮した記述をお願いしたい。 ・照明器具等の選定に際しては、事前に審議会委員等への意見収集をしてから進めることをお願いしたい。																	

令和7年度 市民参画手続 実施状況詳細

番号	所管課	施策の名称	施策の概要 (策定の趣旨等)	手続区分	実施時期 (期間)	パブコメ						審議会・ワークショップ・意見交換会等													
						パブコメ周知・公表方法			参加状況			審議会・ワーク ショップ・意見交換 会等の名称	審議（協議）内容	委員構成等			公開状況			参加者の 要件 (参加対象)	参加者募集 の周知・ 広報方法				
						市民の ひろば	必須設置箇所 以外の供覧場所等	左記以外の 周知方法	意見 提出者数	提出方法	意見 件数			総委員 数	公募委 員数	女性 委員 数	会議	会議 録	公表方法						
23	市街地ま ちづくり 推進課	鹿児島市におけ る建築物に附置 する駐車施設に 関する条例	国の技術的助言への対応及 び中心市街地における老朽 化した建築物の建替え促進 を目的として、条例の規定 を改正する。	パブリック コメント	令和7年10月1日～ 令和7年11月10日	令和7年 10月号	なし	・ SNSへの投稿 (LINE, X, Facebook) ・ 建設関係団体や天文 館商店街振興組合連合 会などへの情報提供	4人	郵送(1) メール(1) 窓口等(2)	17件														
(パブコメ) 検討結果及び反映した主な意見																									
① 意見の趣旨等を反映し、条例案に盛り込むもの 0件 ② 意見の趣旨等は、条例案に盛り込み済みのもの 1件 ③ 条例案に盛り込まないもの 2件 ④ 具体的な事業の実施にあたり参考とするもの 4件 ⑤ その他要望・意見等 10件																									
24	街路整備 課	鹿児島市都市計 画道路見直し基 本方針	長期未着手の都市計画道路 について、人口減少、少子 高齢化等の社会情勢の変化 により、整備の必要性に変 化が生じている路線もある ことから、本市の将来像を 見据え、都市計画道路の計 画を見直す基本方針を策定 する。	パブリック コメント	令和7年4月21日～ 令和7年5月30日	令和7年 5月号	・ 福祉館 ・ ボランティアセン ターなど56か所	・ 市公式SNS ・ 関係する町内会への 情報提供	10人	郵送(2) メール(1) 持参(7)	19件														
				(パブコメ) 検討結果及び反映した主な意見																					
				① 意見の趣旨等を反映し、計画案に盛り込むもの 2件 ② 意見の趣旨等は、計画案に盛り込み済みのもの 4件 ③ 計画案に盛り込まないもの 4件 ④ 具体的な事業の実施にあたり参考とするもの 8件 ⑤ その他要望・意見等 1件																					
				(反映した主な意見) P3の未整備路線の図の数字が、表1-2と一致しない理由は何ですか。 ⇒ご意見の趣旨を踏まえ、「1.2 都市計画道路の整備状況」-「表1-2 都市計画道路の整備状況」の表題に「(152路 線)」の記述を追加して盛り込み、「図1-2 都市計画道路の整備状況 (R6.3.31)」の図中の「全延長」を「117路線」 へ修正、また、枠内の表記を「※都市計画道路のうち幹線道路 (117路線：218Km)」の記述へ変更します。 P13 見直し評価の各道路の詳細点数は、行政側か審議会がしたのか記載し、また、評価点14点以下は、廃止候補とした 基準を明記した方が理解できる。 ⇒ご意見の趣旨を踏まえ、「2.5.1 妥当性の詳細検討 (必要性の評価)」の文中に、「本市で検討した」の記述を追加 して盛り込み、廃止候補とした基準を追記します。																					
				審議会等	令和7年7月31日										鹿児島市都市計画道 路見直し協議会	基本方針の審議	10	0	2	×	×	—	学識経験者 (交通工学、 都市計画、法 律、経済)	—	
(審議会) 主な意見と取扱い																									
・ 「14点以下の基準」については、「基準を追記する」など明確な表現に修正を提案。 ・ 「3つに分類し」という表現も不明瞭なため、「3等分」に変更の方が適切。																									

令和7年度 市民参画手続 実施状況詳細

番号	所管課	施策の名称	施策の概要 (策定の趣旨等)	手続区分	実施時期 (期間)	パブコメ						審議会・ワークショップ・意見交換会等									
						パブコメ周知・公表方法			参加状況			審議会・ワーク ショップ・意見交換 会等の名称	審議（協議）内容	委員構成等			公開状況			参加者の 要件 (参加対象)	参加者募集 の周知・ 広報方法
						市民の ひろば	必須設置箇所 以外の供覧場所等	左記以外の 周知方法	意見 提出者数	提出方法	意見 件数			総委員 数	公募委 員数	女性 委員 数	会議	会議 録	公表方法		
25	文化財課	文化財保存活用 地域計画	文化財の適切な保存及び活 用をすることにより、地域 社会総がかりで文化財を継 承していくための「鹿児島 市文化財保存活用地域計 画」を作成する。	パブリック コメント	令和8年3月2日～ 令和8年4月10日	○	地域福祉館など96ヶ 所	関係団体への周知	5人	郵送(3) 電子() メール(2) FAX() 窓口等()	49件										
				(パブコメ) 検討結果及び反映した主な意見																	
				① 意見の趣旨等を反映し、計画案に盛り込むもの 1件 ② 意見の趣旨等は、計画案に盛り込み済みのもの 21件 ③ 計画案に盛り込まないもの 2件 ④ 具体的な事業の実施にあたり参考とするもの 15件 ⑤ その他要望・意見等 10件 (反映した主な意見) 計画書の中に、ミニアスレチック、トリックアート、シビックプライド、ブランディング、相乗サイクル、デジタル アーカイブ化などわかりにくい横文字があり、用語集を添付してもらいたい。 ⇒資料編に用語解説を挿入します。																	
				審議会等	令和7年7月16日 令和7年10月22日 令和7年1月27日							鹿児島市文化財保存 活用地域計画作成協 議会	鹿児島市文化財保 存活用地域計画案 について	14	3	6	○	○	市HP	公募委員：市 内に住む18歳 以上の人	公募委員：市民 のひろば（令和5 年10月号）、H Pなど
												(協議会) 主な意見と取扱い									
												●推進体制について 行政だけが取り組むのではなく、多様な主体が参画している事が見えるような表現にしてほしい。 ⇒可能な範囲で民間の取組を第8章に掲載									
				審議会等	令和7年8月25日 令和8年2月3日							鹿児島市文化財審議 会	鹿児島市文化財保 存活用地域計画案 について	14	0	6	×	×		文化に関し広 く、かつ、高 い識見を有す る者	
												(審議会) 主な意見と取扱い									
												●特に意見無し									
				ワーク ショップ	令和7年6月5日、23 日（鴨池） 令和7年7月10日、 31日（武・田上） 令和7年8月7日、28 日（上町） 令和7年9月9日、30 日（城西） 令和7年10月3日、 29日（中央）							文化財（お宝）物語	地域の文化財につ いて	139	-	-	-	○	市HP	地域の歴史や 文化に興味の ある方	ちらし、市HP
(ワークショップ) 主な意見と取扱い																					
●未指定文化財の掘り起こし 地域住民から地域の文化財について教えてもらい、地域の歴史・文化のストーリーを作成する取組 作成した地域のストーリーについて、概要を計画案に掲載																					

令和7年度 市民参画手続 実施状況詳細

番号	所管課	施策の名称	施策の概要 (策定の趣旨等)	手続区分	実施時期 (期間)	パブコメ						審議会・ワークショップ・意見交換会等															
						パブコメ周知・公表方法			参加状況			審議会・ワーク ショップ・意見交換 会等の名称	審議（協議）内容	委員構成等			公開状況			参加者の 要件 (参加対象)	参加者募集 の周知・ 広報方法						
						市民の ひろば	必須設置箇所 以外の供覧場所等	左記以外の 周知方法	意見 提出者数	提出方法	意見 件数			総委員 数	公募委 員数	女性 委員 数	会議	会議 録	公表方法								
26	生涯学習課	第五次鹿児島市子ども読書活動推進計画	第四次鹿児島市子ども読書活動推進計画の実施状況を踏まえ、次期計画を策定する。	パブリックコメント	令和7年11月28日～令和8年1月12日	令和7年11月号	親子つどいの広場(4施設)	・市立小・中・高等学校、市内幼稚園、保育所、関係団体等へ情報提供 ・市立小・中・高等学校を通じて、保護者等へ周知を依頼	61人	郵送(7) 電子(35) メール(0) FAX(0) 窓口等(19)	335件																
																						(パブコメ) 検討結果及び反映した主な意見					
						① 意見の趣旨等を反映し、計画案に盛り込むもの		13件																			
						② 意見の趣旨等は、計画案に盛り込み済みのもの		147件																			
						③ 計画案に盛り込まないもの		0件																			
						④ 具体的な事業の実施にあたり参考とするもの		77件																			
						⑤ その他要望・意見等		98件																			
						(反映した主な意見) ・学校での朝読書が減っているようです。全体でなくても機会の確保が読書離れの歯どめになるのではないのでしょうか。⇒計画に「全校一斉の読書の取組が難しい場合は各学校の実態に合わせて、学年単位・学級単位で柔軟に一斉読書の機会を設けます。」を追加します。																					
						・P14「乳幼児期」→読み聞かせをする「もっとも重要な時期」という言葉があってはどうか。取組例として「家庭における読書コーナーの設置」(ミニ図書館)を加えてはどうか。⇒ご意見を踏まえP14乳幼児期の取組例に、「家庭における読書環境の整備(絵本コーナーの設置等)」を追加します。																					
27	教委総務課	第二次鹿児島市教育振興基本計画	教育基本法に基づき、本市の実情に応じた教育振興の施策を推進するため、第二次教育振興基本計画を改定する。	その他(アンケート方式)	令和7年9月1日～令和7年9月26日							その他の手法(アンケート等)															
												その他の手法 (アンケート等)の 名称	協議 (アンケート) 内容	構成・送付数等			公開状況			送付対象者	参加者募集 の周知・ 広報方法等						
														総送付 数	総回答 数	-	アン ケート 内 容	集計 結果	公表方法								
																		鹿児島市の教育に関するアンケート調査	「第二次鹿児島市教育振興基本計画」の改定に伴い、教育に対する満足度や課題などを調査するもの。	WEBアンケート	5195	-	○	○	市HP (概要版のみ)	本市在住の15歳以上(中学生を除く)の人	市HP 市民のひろば 各種SNS 学校・大学等への周知依頼 関係機関・団体への周知依頼等
																		アンケートの結果と主な自由意見									
						●アンケート結果(一部抜粋) 教育全般 ■自分の子どもの教育について悩んでいること、または、悩んだこと ・将来の進路に関すること 52.1% ・勉強に関すること 46.7% ・教育費の負担 31.2% ■これからの子どもたちにとって、必要だと思う資質・能力 ・自ら考え判断する力 60.2% ・自分の考えを的確に相手に伝える力 54.3% ・自ら学ぶ意欲や主体的に学ぶ力 40.0% ■子どもたちの健全育成を図るために、必要だと思うこと ・仲間づくりや人間関係づくり 72.1% ・基本的生活習慣や集団のきまりを身に付けさせること 44.8% ・生活体験や社会体験、自然体験活動40.2% ■これからの鹿児島市の教育にどのような人づくりを期待するか ・自ら学び考え、行動する人 66.6% ・社会のルールを大切にし、道徳心のある人 47.5% ・身近な問題に興味・関心をもって考え、行動する人 32.1%																					

令和7年度 市民参画手続 実施状況詳細

番号	所管課	施策の名称	施策の概要 (策定の趣旨等)	手続区分	実施時期 (期間)	パブコメ						審議会・ワークショップ・意見交換会等									
						パブコメ周知・公表方法			参加状況			審議会・ワーク ショップ・意見交換 会等の名称	審議（協議）内容	委員構成等			公開状況			参加者の 要件 (参加対象)	参加者募集 の周知・ 広報方法
						市民の ひろば	必須設置箇所 以外の供覧場所等	左記以外の 周知方法	意見 提出者数	提出方法	意見 件数			総委員 数	公募委 員数	女性 委員 数	会議	会議 録	公表方法		
28	総合企画 課	鹿児島市交通事 業経営計画	現経営計画（第2期計画）の 策定時と比べて今日の経営 環境は大きく変化してお り、安全で安定的な市電・ 市バスの運行を実現するた めにも速やかに取り組まな ければならない課題も明ら かになっていることから、 令和8年度に予定していた計 画の見直しを7年度に前倒し して実施したもの	パブリック コメント	令和7年9月26日～ 令和7年11月4日	令和7年 11月号	福祉館、親子つどい の広場ほか60か所	局X、市電市バス車内 広告	17人	郵送(7) 電子(7) メール(3) FAX() 窓口等()	73件										
				(パブコメ) 検討結果及び反映した主な意見																	
				① 意見の趣旨等を反映し、計画案に盛り込むもの 2件 ② 意見の趣旨等は、計画案に盛り込み済みのもの 40件 ③ 計画案に盛り込まないもの 5件 ④ 具体的な事業の実施にあたり参考とするもの 20件 ⑤ その他要望・意見等 6件 ＜計画に盛り込むもの＞ ・人件費増や物価高騰とあるが、過去3年前から令和13年度の比較表を作成したほうが理解しやすい。 ⇒ご意見を踏まえ、「V局を取り巻く事業環境とこれまでの取組」中の令和6年度決算の概要を説明する項目に、人件 費及び燃料・動力費について、現計画初年度の令和4年度と6年度における計画額及び決算額を比較した資料を追加し ます。 ・交通施策との連携に関して、他事業者とのラピカ以外の共通一日乗車券のようなものを作るといいのではないだろう か。 ⇒ご意見を踏まえ、「施策No30 モバイルパスの導入・拡大」に「九州MaaSの取組を通じて、他事業者と広域的に連携 したチケットの造成について研究します。」の一文を追加します。																	
				審議会等	令和7年6月4日、令 和7年8月22日、 令和7年11月20日～ 11月28日（書面開 催）							鹿児島市交通事業経 営審議会	・鹿児島市交通事業 経営計画（令和7年 度見直し）素案につ いて ・パブリックコメン ト手続きの実施につ いて ・パブリックコメン トの対応状況につい て	9	2	4	○	○	交通局HP	公募委員 18歳以上 （市内在住）	局HP、市民のひ ろば、SNS、市電 市バス車内広告
(審議会) 主な意見と取扱い																					
・軌道事業の経常損益について、「経常収益は増加傾向にある」と記載されているが、来期以降、大幅な赤字を見込 んでいる状況と整合が取れないのではないかと。この記載では、読み手に良い方向で進んでいると誤解をさせるのでは ないか。 ⇒費用についても触れるなど、誤解を与えないように記載を改める。 ・経営基盤の強化についての目標指標に掲げている3つの目標は、経営改善につながる指標であるか。「施策一覧」 の「基本目標3 経営基盤の強化」に位置づけられる人件費の抑制、光熱水費の抑制、施設等の長寿命化等の各種施 策に関連するものを目標指標にすることも検討されたい。 ⇒削減目標について、再度検討して指標をお示ししたい。その際には、経営基盤の強化について、直接関係するもの を、できるだけ指標化できるようにしたい。 ※「資金不足比率」を「目標として設定」																					

令和7年度 市民参画手続 実施状況詳細

番号	所管課	施策の名称	施策の概要 (策定の趣旨等)	手続区分	実施時期 (期間)	パブコメ						審議会・ワークショップ・意見交換会等										
						パブコメ周知・公表方法			参加状況			審議会・ワーク ショップ・意見交換 会等の名称	審議（協議）内容	委員構成等			公開状況			参加者の 要件 (参加対象)	参加者募集 の周知・ 広報方法	
						市民の ひろば	必須設置箇所 以外の供覧場所等	左記以外の 周知方法	意見 提出者数	提出方法	意見 件数			総委員 数	公募委 員数	女性 委員 数	会議	会議 録	公表方法			
29	船舶局	鹿児島市船舶事業経営計画	近年の物価高騰や企業償還の増を踏まえ、持続的な事業運営を推進していくため、今後の各種施策や財政見通しの見直しを実施するもの	パブリックコメント	令和7年12月17日～令和8年1月31日	令和8年1月号	・福祉館 ・水族館 ・改新交流センターなど58箇所 ・経営審議会委員9人に郵送	例) SNSや大学、桜島地域町内会やコミュニティ協議会への情報提供 など	9人	郵送(4) 電子(3) メール(2) FAX() 窓口等()	41件											
				(パブコメ) 検討結果及び反映した主な意見																		
				① 意見の趣旨等を反映し、計画案に盛り込むもの 4件 ② 意見の趣旨等は、計画案に盛り込み済みのもの 6件 ③ 計画案に盛り込まないもの 0件 ④ 具体的な事業の実施にあたり参考とするもの 12件 ⑤ その他要望・意見等 19件 (反映した主な意見) ・経営健全化基準について、わかりにくいので、算定の方法等、記載してもらいたい。 →意見の趣旨を踏まえ、用語解説の項目に用語の追加を行う。 ・「5 船舶事業の役割」―「(3) 災害対策」の桜島火山大規模噴火時に係る避難計画において指定された19か所の場所と避難経路を図示で明示してもらいたい。 →「5 船舶事業の役割」の「(3) 災害対策」に避難計画において指定された19か所の場所と避難経路を計画中に図示する。 ・「5 船舶事業の役割」―「(2) 観光振興(交流人口の創出)」について、観光振興に関する文言を「6 船舶事業のこれまでの取組」と「7 船舶事業の現状と課題」に追加してほしい。 →「6 船舶事業のこれまでの取組」―「(3) 経営健全化の推進」―「③増収対策」及び「7 船舶事業の現状と課題」―「(3) 計画で取り組むべき課題」―「③収益確保に向けた取組」に観光振興に関する文言を追記する。 ・『9 基本目標及び目標指標』目標指標一覧 5. 環境にやさしい施策の推進の目標指標R10年度末 48,000㔩 R13年度末 69,000㔩の算定方法を記載した方が理解できる。 →省エネ運航の燃料の削減量の算定方法を記載する。																		
												鹿児島市船舶事業経営審議会	・鹿児島市交通事業経営計画（令和7年度見直し）素案について ・パブリックコメント手続きの実施について ・パブリックコメントの対応状況について	9	2	4	○	○	船舶局HP	公募委員18歳以上（市内在住）	局HP、市民のひろば、SNS、フェリーターミナル内掲示	
(審議会) 主な意見と取扱い																						
・値上げの根拠や値上げ額100円の根拠を明確にすべき。 →値上げの根拠や値上げ額100円の根拠についての記載を追加 ・市民には「企業債」や「資産売却」の内容が分かりにくい。企業債の説明が必要 →コロナ対応企業債などの補足説明を追加 ・「旅行者だけ運賃を上げるべき」というパブコメ意見は、法律上の差別的運賃にあたり、採用できないはずだが、実施結果報告の資料では「盛り込み済み」と書かれてあり、内容と表現がズれており誤解を生むのではないかと、 →誤解を生むかもしれないので、再考し「具体的な事業の実施にあたり参考とするもの」に変更																						